

### 応援の準備 その3

2月も最後の週となりました。今日は、天皇誕生日です。明日は振替休日ですので、2月25日と26日に福島方面と郡山方面にあいさつに回り、27日に職員会議をすると、もはや2月28日となり、卒業式予行になります。3月1日が卒業式で、3月2日が代休日となり、3月3日に会場設定を行うと、3月4、5日の入学者選抜であり、野球部は遠征に出かけます。3月8日から練習試合が解禁になることから、練習試合を2、3試合すると、もう3月11日には、甲子園出発です。あっという間に、甲子園が始まります。

3月13日に組み合わせ抽選があり、試合の日が決定します。1回戦は、3月19日から24日の第一試合までです。25、26日まで2回戦があり、ベスト8が決まります。27日に準々決勝があり、29日に準決勝があり、31日が決勝です。

あっという間に、私の磐城高校生活も終わります。こんな嵐のような時間を送るとは夢にも思いませんでした。こんな時間がずっと続いてくれたらと心から願わずにはいられません。静かに過ぎ去りし日々を思ったり、いろいろな人々との出会いを懐かしく考えたりする間もなく、時間が過ぎ去っていくのでしょうか。これはこれで、私そのものが消滅するわけでもなく、磐城高校がずっと続いていくのは明確であり、男1人の感傷と笑ってください。

それでも子供たちの笑う顔には、心が癒されます。苦しい時や悲しい時も、子どもたちの声と笑い顔に支えられてきたことは明白です。様々な試みに結果が出ないと落ち込んだり、自分自身を疑ったりしがちですが、子どもたちが元気であるとそれだけで納得する部分がありますので、学校は元気な子供たちに支えられていくことは間違いないことだと思います。

教職員も多忙化解消が進まず、疲労が蓄積しているのを見ると痛々しいと感じることがあります。校長として申し訳ないと思います。なんとかして、1人でも多くの教職員を確保し、少しでも一人一人の負担感を縮小してあげることができればと思います。

人事が進んでいますが、できるだけそんな目標を掲げて人員の確保に努めております。校長として最後の大事な仕事になると思います。教職員の負担感を解消できればどんなに良いかと考えます。そのことが、一人一人の生徒への指導時間の長さにもつながるとも思います。

ゆくゆくは体位性やコース制を教育課程に取り入れていこうというのには、教員定数が増えることと関係しています。これからの磐城高校への皆様のご要望にお応えするためにも、様々な改革を実践していかなければならないと考えます。いわき地区の中学生や小学生の信頼を得ていける学校づくりをしていかなければならないと考えます。